

2024



論壇

Contribution to
JAHA



「10年先を見据えた技術戦略」 について

スズキ株式会社
代表取締役 社長

鈴木 俊宏

はじめに

弊社ではカーボンニュートラル社会の実現と、新興国や地域経済への貢献との両立を、スズキらしいモビリティの提供を通じて実現することを戦略の骨子とする「2030年度に向けた成長戦略」の達成を目指しています。その一環として2024年4月には人事制度を全面的に刷新しました。新しい制度により、社員一人ひとりの学びの機会を増やし、挑戦と行動を支え、個の職務能力を向上させることで、会社の創造価値を高めていきます。そして7月には、技術開発や商品開発を中心とした「10年先を見据えた技術戦略」の発表を行いました。今回はその技術哲学と取り組みについてご紹介します。

スズキの考える技術哲学

現在、2050年カーボンニュートラルに向けて様々な業界で技術開発や議論が進められています。カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの収支バランスを“プラスマイナスゼロ”にすることです。つまり、排出したCO₂と同じ量を吸収、または除去することで実現できます。元々のCO₂排出量が少なければ、取り返す量も少なくて済みます。そこでスズキ

は「小・少・軽・短・美」の理念に基づき、使うエネルギーを極少化して、出すCO₂を極限まで小さくします。これが私達の考える技術哲学です。製造からリサイクルまで「エネルギーを極少化させる技術」を実現し、世界中の人々に移動する喜びをご提供しつつ、カーボンニュートラルな世界を目指していきます。

「エネルギー極少化に向けた技術戦略2024」

私たちは「小・少・軽・短・美」の理念に基づき、5つの柱(図1)を中心とした技術開発を今後進めてまいります。

■軽くて安全な車体

スズキが得意とする小さく軽いクルマは、走行時のCO₂排出量が少ないだけでなく、製造に必要な資源や製造で排出するCO₂も少なくでき、省資源やCO₂削減に貢献してきました。安全で軽量の「HEARTECT(ハーテクト)」を更に進化させ、軽量化技術によるエネルギーの極少化に取り組んでいきます。

エネルギー極少化に向けた技術戦略2024

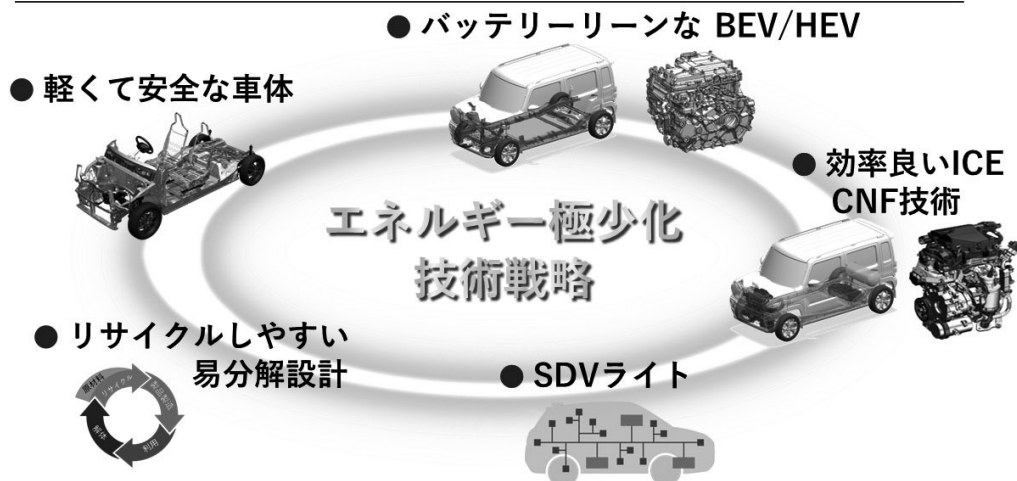


図1 エネルギー極少化に向けた5つの技術開発

■ バッテリーリーンなBEVとHEV

スズキは国や地域の再生可能エネルギー化の状況、お客様の使用状況に合わせ、最もエネルギー効率が良い選択となる「適所適材な電動車をお客様にお届けする」ことを目指し、小さく効率が良い電動ユニット、小さく軽い電池などエネルギーを極少化した電動車を開発していきます。

■ 効率良いICE、CNF技術

2023年、内燃機関の根幹となる燃焼を追求した高効率エンジンを開発し、最大熱効率40%を達成しました。今後はこの高効率エンジン技術を全展開するとともに、カーボンニュートラル燃料対応や、次世代ハイブリッドによるエネルギー極少化を実現します。

■ SDVライト (right)

スズキはSDVについても「小・少・軽・短・美」によるエネルギー極少化を具現化したアフォーダブルな仕組みでクルマの価値を創造する「SDVライト」を開発し、ご提供していきます。ソフトウェア更新は有線と無線をベストミックスし、より使いやすいものにします。また、ハードウェアを共有して部品費を抑え、ソフトウェアを再利用して開発費を抑えるなど、「これでいい。これがいい」とお客様に感じていただけるSDVを目指します。

■ リサイクルしやすい易分解設計

これまでのリニアエコノミー(直線型経済)では、原材料採掘から製造・利用・廃棄の流れが一方向で、エネルギーの大量消費、資源の枯渇、環境破壊を引き起こしてきました。

今後はリサイクルや再利用を前提にした分解しやすい製品設計を行うことで、資源の総使用量を抑制し、エネルギー極少化によるサーキュラーエコノミー(循環型経済)を実現します。

最後に

私たちは行動理念(図2)に基づき社是の実現・国や地域に最適なエネルギー極少化技術の実現に取り組み、世界中の人々に自由に移動する喜びをご提供します。スズキの技術戦略・商品開発に今後もご期待ください。



図2 「社是」と「行動理念」